

令和7年生駒市教育委員会第9回定例会会議録

1 日 時 令和7年9月16日(火) 午前9時30分～午前11時35分

2 場 所 生駒市役所 大会議室

3 審査事項

- (1) 報告第15号 令和6年度決算報告について
- (2) 報告第16号 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (3) 報告第17号 生駒市新たな地域クラブ活動推進事業の進捗について
- (4) 議案第25号 生駒市生涯学習施設条例施行規則等の一部を改正する規則の制定について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委 員 (教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	中 川 義 三
委 員	吉 尾 典 子		

5 教育委員会欠席者

委 員	レイノルズ あい
-----	----------

6 事務局職員出席者

教育部長	松 田 悟	生涯学習部長	坂 谷 操
教育部次長	南 口 嘉 子	教育総務課長	山 本 英 樹
幼保こども園課長兼務		学校給食センター所長	山 本 芳 和
教育指導課長	花 山 浩 一	幼保こども園課指導主事	牧 野 由 美
児童総務課長	石 田 昌 代	生涯学習課長	甫 田 和佳子
図書館館長	西 野 貴 子	スポーツ振興課長	西 政 仁
教育総務課課長補佐	松 田 美奈子	教育指導課課長補佐	中 田 博 久
教育政策室長	杉 山 史 哲	こども園準備室長	澤 辺 誠
図書館南分館長	中 川 公 子	図書館北分館長	谷 江 真美子
生駒駅前図書室長	入 井 知 子	教育総務課 (書記)	土 井 智 史
教育総務課 (書記)	寺 川 寧 々		

7 傍聴者3名

午前9時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

・生駒市図書館リニューアル工事について、西野図書館長から説明

<参照：資料1>

(質疑)

中川委員：リニューアルに伴い、新しい本との出会いを支援するためのイベントを期待する。

飯島委員：壁に自由に書き込むイベントについては、何らかの形で保存されるのか。

西野館長：大きな壁に思い切り自由に描いてもらいたいという思いがある。写真などは記録として残す予定である。来館者が描いた壁を背景に、図書館のマスコットキャラクターとともに写真を撮り、SNSなどで紹介できる仕掛けとなっている。

飯島委員：普段と違うイベントを行うことで、図書館への親近感が深まるだろう。リニューアルオープン期間中は、本の貸し出し期間が長期化した別の形となるが市民の方が不便を感じる事なく進めていただきたい。

吉尾委員：生駒市内でも歴史ある図書館であり、市民の方もリニューアルを心待ちにしているだろう。

○日程第3 報告第15号 令和6年度決算報告について

・令和6年度決算報告について、松田教育部長、坂谷生涯学習部長から説明

<参照：議案書p1、別冊1>

(質疑)

吉尾委員：多くの事業の推進において、予算が目標を立てて活用されていることを実感した。決算の振り分けを終えた後、使途について改めて、さらに必要と感じたものがあれば教えてほしい。

松田部長：予算の振り分けに関しては、担当課において各事業を最小限の経費で賄う方針である。給付事業については、子どもの数の増加が見込めず、不用額が生じる場合があるが、必要に応じて給付できるよう進めていきたい。

吉尾委員：教育委員会研究協議会の際に、他の市町村に比べて生駒市はトイレや空調設備の整備が進んでいると感じた。教育環境の改善に向け、熱心に取り組んでいただいている。

飯島委員：多数の項目の予算配当を調整しながら取り組むのは難しいであろう。全般的に老朽化している校舎の改修にかかる費用を除いて2020年以降導入

した I C T 端末の入れ替えや義務教育学校を作る際の将来的に必ず必要となる高額な予算については数年先まで見込んで調整できているのか。

山 本 課 長：計画的に進めるべきと認識している。端末については国からの補助がある。大規模改修や義務教育学校の建設についても、国の補助がなければ自治体のみで賄うことは不可能である。市長や教育長をはじめ、我々も文部科学省に出向いて要望を伝えたい。

中 川 委 員：23 ページの私立幼稚園助成費の項目において、1 園のみに運営費の補助を行ったというのは、何に対して実施したのか。また、新制度への移行により、市外の私立幼稚園利用者への補助内容についても確認したい。

松 田 部 長：私立幼稚園 1 園への運営費助成になるが、子ども子育て支援新制度に移行していない白百合幼稚園への助成である。これは、利用者に対してではなく、幼稚園に対する運営費助成であり、市外の私立幼稚園へは助成を行っていない。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第4 報告第16号 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について
・令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について、花山教育指導課長から説明
<参照：議案書p2、別冊2>
(質疑)

吉 尾 委 員：例年、読み解く力や表現力が課題であると感じている。5 ページにあるように、学校以外での勉強時間が多く、読書の時間が確保されていない。図書館は充実していると思うが、自分で選んで1冊買うことも大事だと感じる。放課後の時間に余裕がないというのは、生活経験や体験の不足につながる可能性がある。将来の夢につながる経験も重視すべきである。授業の中に、実際に体験する機会を視野に入れてほしい。地域の中で役割を果たしているという意識が低いのは、学校、家庭、塾や習い事の範囲でしか活動していないことが要因ではないかと感じる。様々な活動を通じて地域の一員であることを実感できるような取組が重要である。地域の防災訓練にも、中学生は即戦力となり得るので率先して参加してほしい。児童生徒の主体的な学びを目指すという学校の取組も変化していく中、教員との対話を重視した授業が求められる。I C T の使用頻度は低いが、使いこなせる児童生徒は多い。教員がその変化に追いついていない可能性もある。教員が率先して児童生徒の興味に対応してほしい。自己肯定感の高まりについて、どのような取組が効果的に影響しているのかを分析してほしい。「自分が幸せと思えない」と回答した割合が1パーセントであるが、保護者や学校もこの数字を認識すべきである。

飯島委員：いじめに対する認識が子ども達の間で浸透してきていると感じる。自己肯定感の高まりも素晴らしい。これに至った取組を検討し、継続してほしい。防災教育において、小学生は地域との関わりが多いが中学生の関わりが少ないという点は他の自治体でも共通の課題である。防災教育の中に中学生の地域との関わりをしっかりと位置づけるためにも、日常的に地域の人々と接する機会を増やし、長期的に取組を継続してほしい。３ページのグラフにある「貴教育委員会」の表記は「生駒市」に訂正してほしい。児童生徒の特徴に応じた指導をお願いしたい。ＩＲＴの指標を用いているが、生駒市は平均以上に授業についていけている。今後も子ども達の特徴に合わせて指導を継続してほしい。

中川委員：生駒市の子ども達は一生懸命に学習に取り組んでいる。ＩＣＴ化に伴う設備整備に加え、先生方とのコミュニケーションや現場の確認が大切だと感じる。子ども達の力を発揮するためには先生方や学校への信頼の醸成も重要である。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第５ 報告第１７号 生駒市新たな地域クラブ活動推進事業の進捗について
・生駒市新たな地域クラブ活動推進事業の進捗について、西スポーツ振興課長から説明
<参照：議案書 p 3～5>
(質疑)

飯島委員：全体的に指導者が不足している。特に、ハンドボール、バスケットボール、サッカーにおいて不足が目立つ印象である。残り半年の間に体制を整えることは可能なのか。これまで多くの人抱えてきた部活動のイメージのまま、地域へ移行して継続することは難しいだろう。来年４月から新たなクラブ活動の在り方を築いていくためには、意識改革が必要である。その後押しをお願いしたい。

吉尾委員：指導者の不足が懸念される。地域移行とは、学校自体も地域を知ることである。学校も地域に積極的に働きかけ地域とのつながりを意識して取り組んでほしい。

中川委員：これまでのように学校の数だけクラブが存在するという形は維持できない。集まりやすい学校施設の活用や、市外での練習など、様々な調整を行い、可能な限り子ども達の希望が実現するよう取り組んでほしい。

原井教育長：現在は土日における地域移行についての対応であり、平日の部活動は学校の教育課程の一部であると理解していただきたい。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第6号 議案第25号

・生駒市生涯学習施設条例施行規則等の一部を改正する規則の制定について、西スポーツ振興課長から説明

<参照：議案書p6、資料2>

(質疑) なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○その他

・生駒市教育委員会主催夏季研修会について、花山教育指導課長から説明

<参照：その他資料1>

(質疑)

飯島委員：参加者の感想には、意見交換の場面が良かったという声がある一方で、長時間の話し合いに疲れたという意見も見られる。学習参加の形式を取り入れ、指導におけるアイデアやヒントを得られる場として活用してほしい。

吉尾委員：教育フォーラムに参加したが、若い教員の伝え方が分かりやすく上手であった。今後も継続してほしい。

中川委員：市の教育方針には目を通していているが、実践に向けて考える機会が不足しているのではないかと。考えに基づいた実践が、二学期の取組にもつながるだろう。小学生の様子や小学校と中学校の連携も重要である。今後も継続して取り組んでほしい。

・沓分こども園整備報告について、澤辺こども園準備室長から説明

<参照：その他資料2>

(質疑)

中川委員：自治会で説明会を開催しても、全員が参加できるわけではないため、回覧は有効な手段である。

吉尾委員：非常に良い提案である。市民の視点に立ち、必要な情報を伝えている。これにより、こども園が設立された際には、地域とのつながりがさらに深まると考えられる。

・生駒市立幼稚園再編に係る基本方針策定について、澤辺こども園準備室長から説明

<参照：その他資料3>

(質疑)

飯島委員：公立幼稚園の3ページにあるアンケート結果では、母親の52.5%が就労していない。パート・アルバイトが32.2%ということは、フルタイム就労は15.3%になるのか。

澤 辺 室 長：公立幼稚園に通う母親の就労状況について、フルタイムは３．４％、育児休業中・介護休業中が２．３％、その他が６．８％、無回答が２．８％である。

飯 島 委 員：公立保育園と公立幼稚園では、両親の就労状態が違うことを踏まえて今後の再編や有効なサービスに活かしてほしい。

吉 尾 委 員：０歳から２歳児のニーズが気になる。幼稚園としては、預かり時間の延長や夏季休業中の預かりを実施しているが、公立幼稚園の選択肢としての魅力は弱いと感じる。生駒幼稚園が園児数を維持しているのは、給食の提供があることが魅力であると再確認した。園児数が劇的に増加する見込みは無いだろう。公私関係なく幼稚園教育の質をしっかりと伝えることを意識して取り組んでほしい。アンケート結果が方針に反映され、今後の施策に役立つことを願っている。

原井教育長：このアンケートを根拠資料として基本方針を策定し、総合教育会議で協議していく。

・生駒南小学校・生駒南中学校整備事業について、杉山教育政策室長から説明

<参照：その他資料４>

（質疑）

飯 島 委 員：活発な意見交換が行われたことが読み取れる内容であった。学校を創る過程において、地域の方々に参加してもらうだけでなく、育てたい子ども像について意見を交わす機会を設け、協力を得られるよう働きかけてほしい。

中 川 委 員：各種教室の配置については、小中学校それぞれの学習内容に応じた調整が必要であると思われる。今後も継続的な話し合いをお願いしたい。

吉 尾 委 員：このような取組が、小中学校に周知されているのか確認したい。

杉 山 室 長：開催については校長会で報告している。

吉 尾 委 員：他の教員にも情報として共有し、南小中が先進的な取組を進めているという意識を、市内で勤務する教員に広く認識してもらいたい。

原井教育長：新しい学校で新しい教育に取り組みたいと考える教員はいると思われる。教育長だよりでもすでに掲載しているが、今後も継続して発信していきたい。

・令和７年１０月行事予定について、山本教育総務課長、甫田生涯学習課長から説明
（質疑）なし

○閉会宣告

午前１１時３５分 閉会